

## 流山市幼児教育支援センターと附属幼稚園に関する意見

両方残す	センター機能↑	センター残し、園廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター機能の充実を実践する視点から、附属幼稚園は残した上で流山市独自の教育ができる教育機関という位置づけにして活用してもらいたい</li> <li>・公立幼稚園、公立保育園、小学校、学童保育が隣接するこの地区は、環境的に非常に恵まれているので、この場所で架け橋期教育の流山版を実践できないか</li> <li>・財源を確保することが難しいかもしれないが、認定こども園化するという方向で、新たな形で再生していく方法も可能性としてはある</li> <li>・お金のことを抜きにすれば、公だからこそできる学習、専門性を高めるための機関として、課題を抱えている子やそうでない子もいる中で、研修できる場という在り方も模索できないか</li> <li>・教育機関だけでなく、そこを支える地域という視点も含めて認定こども園といったものが北部にできるのであれば、それは流山が全国に言える新しい一つのスタイルだと思う</li> <li>・独自性があることが私立の園なので、私立幼稚園に公教育の実践を委ねることは限界がある</li> <li>・子ども園を検討していくときは、学校教育としての幼稚園の機能をしっかりと持った幼保連携型認定こども園を進めてもらいたい。</li> <li>・人数だけで考えず、モデル園というものを気持ちの上では持ちながら、今やっていることに自信を持って保育を継続してってもらいたい</li> <li>・園がなくなってしまうと、町全体が暗くなり、卒業された園児の方々に、あまりよくない影響があるのではないか。</li> <li>・海外から年長になって流山市に来たとき等、どの園にも入れてもらえないということが絶対にない体制作りが一番大事</li> <li>・送迎保育ステーションのようなことが、北部地域でできないか</li> <li>・モデル園として実験的に学童保育のような形で一時的に幼稚園で小1の子どもを預かる</li> <li>・3歳児の預かりをする</li> <li>・送迎など通いやすさという環境を整え、中身を充実させれば利用したい人が埋もれている地域</li> <li>・附属幼稚園を残すのであれば、どういう形であれば残してやっていけるかを建設的に考えるべき</li> <li>・福祉や教育は、お金の代えがたい子どもの育ちや次の世代を育てる未来への先行投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としての方向性や指針を示す場所として大切なところ</li> <li>・幼稚園と保育園の架け橋として皆で話し合っ地域で守る場に</li> <li>・文科省の補助制度を活用した事業の対象となるよう市の体制整備を図るべき</li> <li>・支援センターが担う保幼小連携の中核的役割は、今後も発展していくべき</li> <li>・センターから情報を発信する機能を充実させる</li> <li>・庁内の役割分担も各施設の実践のまとめも大事だが、役割を超えてそれを家庭へ共有できる流れがあるといい</li> <li>・既にある強み(要支援の子への対応)持った上で、アドバイザーを配置し、現在の巡回を広げ、連携のハブ的機能を充実させる</li> <li>・流山の子どもをどう育てるかを共有し、情報発信、研修、現場サポートができるセンターが望まれる</li> <li>・センターは、幼児教育と小学校教育がタッグを組んだ体制が大切</li> <li>・センターの充実策として、アドバイザー配置は重要。公開保育をやって公開勉強会をすることでも補助事業は使えるのではないか</li> <li>・アドバイザー事業の事務局をセンターがやる</li> <li>・就学前教育の中身を、幼稚園も保育園も公立も私立も含めて充実させる機能が必要</li> <li>・子育てなどに困ったときに一つの場所で相談すれば、スピーディーに動いてくれる市の機関を作ってもらいたい</li> <li>・センターは、幼稚園担当の子ども家庭課、保育園担当の保育課、その両方を司るような機能として、市役所の中にあるという形にしてもらいたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後更にお金のかかる附属幼稚園は廃園にして、私立幼稚園に補助をしていける体制を作るべき</li> <li>・附属幼稚園を廃園して、その分のお金を療育事業を行う私立幼稚園の様々な支援にしていくのも一つの手</li> <li>・流山市にはとても多くの幼稚園や保育園があって、市民の需要は十分足りていると思うので、附属幼稚園は廃園して、その分のお金を保育の充実に使うべき</li> <li>・附属幼稚園をなくしたから何もしないのではなく、子どもたちの行き場所も含め、私立幼稚園の支援など色々な方法を探っていけばいい</li> <li>・保育料の無償化で保育料の差がなくなって、さらにお金をかけて給食やバスなどをやっても、それで増員が望めるのか疑問</li> <li>・私立も定員割れしているのだから、多額の税金を投入して私立と競うより、もう私立に委ねてもいいのではないか</li> <li>・要支援の子の受入れがもっと全市できて、そこにセンターやつばさ学園が関与できるといい</li> <li>・どの園も少子化の煽りを受けて園児が減少し、子ども全体が減少している。今と同じ形で存続するのは厳しい</li> <li>・流山市内の幼児教育については、私立幼稚園に委ねていただきたい</li> </ul>
園機能↑	センター機能↓	園機能↓
センター廃止、園残し	センター機能↓	両方廃止

- ・明らかに今の保護者のニーズを満たしていないまま運営していくのは非常に難しいが、インクルーシブの先鞭をつける例として、モデルとして踏まえる
- ・幼稚園の名前を検討（支援という言葉を入れない）
- ・周りに園がなく、園がどうのこうのという問題ではない

- ・センターがしっかりと機能して、困り感のある子どもに対しての支援ができるノウハウを持った人を育てていくことに市がどう視点を置くかが一番大きな鍵だと思うが、育てる場所は公立幼稚園でも私立幼稚園でも関係ない

- ・市や国が要支援の子の受入れに対し補助的支援、加配をすれば、保護者はもっと園を選べるようになる
- ・要支援の子の受入れに対する国の体制を見直すべき
- ・療育や発達支援の受け入れについては、市を超えた国の法律を決める部分の話であり、全国的な幼稚園児の減少という状況にあっては、国のレベルで幼稚園の空き教室を利用して積極的に療育を取り入れる方針などが示されることが望ましい

- ・廃園にするならば、今そこに通っているお子さんが、今後どういう形で幼児教育や就学に向けてつながっていくのかを考えるべき
- ・1号認定のお子さんについて、数的に受け皿があるかどうかだけではなく、充実した保育が保障されていくことを考える必要がある
- ・今の若い世代は、綺麗で新しく、字や英語などを教えてもらえる所に興味を惹かれる
- ・保護者の望む園とは何か、今後、園児を獲得する上で大切になる
- ・園児の減少は一概にお弁当がだめで給食ならいいという問題ではない
- ・親が求めることだけを全面にせず、子どもの育ち、発達という基本を市がしっかり持って考えることが大事